

清明地区の誇り

清明の宝 みんなで作る「御代参祭り」  
ごだいさん



平成26年の御代参祭りに向けて、3つの婦人グループと自治会連合会の皆さんで、行列で使用する一文字笠、太刀、やり、十文字、手持ち箱などの小物や奴の衣装(法被、前掛け、籠手、脚絆)などを手作りした。



平成29年の御代参祭りを盛り上げようと、住民16人が中心となり、地区の皆さんから頂いた着物の帯を飾りに使い、鎧、兜、陣羽織を製作。約3か月間、細かい根気のいる作業だったが、和気あいあいと楽しい時間を過ごした。



江端町日吉神社境内に三日月池がある。この池の水を飲むと難病が治るとのことで、多くの人々が利用していた。1770年、第12代福井藩主松平重富公がこの水を飲み脳の病が治ったので、同年6月15日にお礼の御参拝をなされ、葵紋付戸張提灯を寄進されたと伝えられている。その後毎年御代参があり、廃藩まで続いたと言われている。地区の伝統的な歴史を伝えようと、平成26年に「御代参祭り」として再現すべく、清明まちづくり委員会では、3年ごとに開催することを決め、平成29年6月開催に向け準備を進めている。



平成27年度から清明まちづくり委員会庶務  
前川 喜美恵さん

清明まちづくり委員会庶務担当に加え、2017御代参祭り実行委員会では行列部会副部長を担当。「地区の皆さんとともに、手作りの御代参祭りを盛り上げていきたいと思っています」と話す。

清明公民館

住 所／福井市下荒井町8-414

電 話／0776-38-0043

交通機関／福井鉄道「清明駅」から徒歩10分(清明小学校北西)